



東海道五十三次
岡部 おかべ

丸子に続く岡部も山あいの小さな宿場である。ここには西行西住伝説が残る。古く素朴な町に似つかわしい仏像が多い。宿場に入る前に在原業平ゆかりの葛の街道にも奇きおきたい。

藤枝から岡部をへて宇津谷峠を越える街道は中世以後に発達したもので、建久五年(二九四)源頼朝が鎌倉と京都を結ぶ街道(鎌倉道)を整備し、岡部宿を設立した。丸子と同じく岡部も峠越えの小さな宿場であった。いまではこれも鉄道から遠く離れたケケンとお茶を栽培するささやかな土地である。



明治のトンネル
宇津谷峠に明治九年日本で二番目に開通し、話題になったトンネル(歩行専用)この開通で宇津谷峠越えは大きく変化した。レンガ造りのトンネルの中にはんやりとしたアブが灯り一見の価値がある。

